



No.123  
2025.3.20

# SEA NEWS



- ① … 三菱重工浦和レッズレディース、「皇后杯 JFA 第46回全日本女子サッカー選手権大会」優勝
- ② … 浦和レッズジュニアユース、「高円宮杯 JFA 第36回全日本U-15サッカー選手権大会」優勝
- ③ … SAGA2024～生まれ変わった「国民スポーツ大会」振り返り～
- ④ … ①国スポ、初の隔年開催「成年女子」で3位入賞
- ⑤ … ②少年男子、優勝した広島県に敗れて5位入賞 上田健爾監督(細田学園高校)
- ⑥ … ③少年女子、PK戦で惜敗 少年女子 石塚智之監督
- ⑦ … ④0-35埼玉県選抜、日本一に～日本スポーツマスターズ 2024 長崎大会～
- ⑧ … ⑤FC.西武台 柳田祐造監督に聞く～JFA第12回全日本O-40サッカー大会。初優勝
- ⑨ … ⑥昨年10月、11月で2度の「日本一」に輝いた塚本浩史さんに聞く
- ⑩ … ⑦女子フットサル埼玉県選抜、初の日本一～日本トリムPresents 第16回全国女子選抜フットサル大会
- ⑪ … ⑧JFAキッズプログラム巡回指導～埼玉トヨペット様との協働実施
- ⑫ … ⑨第18回埼玉県第4種サッカーリーグ・選手権大会 エクセレントフィートFCが初優勝!
- ⑬ … ⑩大会記録●県内大会 1種・2種・高体連・3種・中体連・クラブ・4種・女子・シニア・フットサル
- ⑭ … ⑪大会記録●県外大会 1種・大学・2種・高校・3種・4種・女子・シニア
- ⑮ … ⑫大会記録●県外大会 シニア・フットサル インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 シャトル雁ヶ音204 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

## 三菱重工浦和レッズレディース、 「皇后杯JFA第46回全日本女子サッカー選手権大会」優勝

1月25日、「皇后杯JFA第46回全日本女子サッカー選手権大会」の決勝がエディオンピースウイング広島で行われ、三菱重工浦和レッズレディースが三大会振り2度目の優勝に輝きました。

前半11分に高橋はな選手のゴールで先制しながらも前半のうちに同点を許し、昨年の決勝に続いて今回もPK戦にもつれこみました。しかし、浦和はキッカーの5人が全員成功し、GK池田咲紀子選手が3人目のPKを止めて優勝をつかみました。

おめでとうございます。次はリーグ3連覇に期待しています。



## 浦和レッズジュニアユース、 「高円宮杯JFA第36回全日本U-15サッカー選手権大会」優勝

12月27日、「高円宮杯JFA第36回全日本U-15サッカー選手権大会」の決勝が味の素フィールド西が丘で行われ、浦和レッズジュニアユースが11年ぶり3度目の優勝を果たしました。

前半で2点のリードを許したものの、32分に井原桜太選手が1点を返すと、後半のアディショナルタイム(+3分)に松坂碧生選手が同点とし、延長後半6分に三角隼人選手が決勝のゴールを決めました。

おめでとうございます。3年生の皆さんはそれぞれの進路と共に、来年度の国スポ少年男子でもがんばってください。



# SAGA2024～生まれ変わった「国民スポーツ大会」振り返り～

## ①国スポ、初の隔年開催「成年女子」で3位入賞

隔年開催となってリスタートを切った「成年女子」は、東洋大学女子サッカー部の単独チームで出場し、拮抗する勝負の中で3位入賞を果たしました。

参加者／成年女子監督・石津遼太郎（東洋大学）、技術委員会強化部長・荻野清明（浦和東高校）、成年女子ダイレクター・長谷川暁雄（久喜高校）、成年女子サブダイレクター・小椋大（南稜高校）、司会・荒川裕治（広報・技術・女子委員）

### 東洋大学さんをお願いしてよかった

—お忙しい中、お時間を作っていただき、ありがとうございます。今回、初のZoom座談会を開催させていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは石津さん、お疲れさまでした。最初に、試合中心に振り返っていただいてもよろしいでしょうか。

**石津** 皆様のご協力もいただき、おかげさまで3位入賞を果たしました。

印象に残ったのは、まずは愛媛県との2回戦です。相手チームそのものは、なでしこリーグ1部の愛媛FCレディース。前半は優勢でしたが、後半は逆に防戦一方になりました。私たちとしては、関東大学リーグだとあんなに劣勢になる試合というのはなかなか無いものですから、いい経験をさせてもらいました。

**荻野** なでしこリーグのレベルだと、ボールを奪うとWEリーグと違って縦に早くて。そういう攻撃に対して、GKを含めて体を張ってよく守ってくれましたね。続く準決勝でも、なでしこリーグ2部のディアプロッソ広島と対戦しましたが、かなりハードだったと思います。

**石津** そうでした。いい経験となりました。もう一つは、先の愛媛戦はPK戦で勝ち上がり、続く広島戦もPK戦となったことですね。これは前日のPK戦を見られていたのですが、何人か前日と同じ方向に蹴った選手がいて、止められてしまったんですね。もう少し工夫できたらよかったです。

**荒川** ですが、3位決定戦で大阪府にこれまたPK戦でしたが勝ち、3位入賞で大会を終えてもらいました。4日間で4連戦、うち3試合連続PK戦。本当にお疲れさまでした。

すでに石津さんから大会の振り返り報告を出していただいています。その中で、「単独チームが優勢だった」という項目がありました。埼玉県としても、今回は東洋大学さん単独でお願いしました。改めて、東洋大学さんをお願いしてよかったと強く感じているところですが、その調整に奮闘していただいたのが長谷川さんです。ちょうど、東洋大学さんが群馬から埼玉へ活動拠点を移すという話があったことでしたね。

**石津** 大学連盟の中で移転の話はしていましたから、川本先生（竜史氏／大東文化大学。当時、全日本大学女子サッカー連盟理事長）からだったのではないのでしょうか。

**長谷川** そうですね。その話から、東洋大学さんに単独チームとして出てもらおうという流れになったと思います。

そもそも、「成年女子」は浦和レイナスさんをお願いし（2004年、埼玉国体で優勝）、チームとして浦和レッズレディースさんになったので引き継いでいただきましたが、一時は大学選抜、その後レッズレディースのユースとOGの大学生をお願いしてきました。

ただ、新型コロナウイルスの感染拡大で大会そのものが中止になったこと、「少年女子」が始まることを受けて、レッズレディースさんでもこれ以上の協力は難しいという話になったものですから、まだ

大学で選抜チームを……と検討していた頃でしたね。

—東洋大学さんとしては、群馬県代表としての経験もありましたね。

**石津** 群馬の女子も基本的には東洋がメインで。前橋育英の子とか上武大学の選手が一人か二人入ることもありましたが、基本的にはずっと単独で参加させていただいていました。

ですが、埼玉に来てから朝練が基本になっていましたので、そこに他のチームの選手に来てもらうというのが、物理的に難しい。このことも含めて総合的に考えて単独でやらせてもらったほうがいいと思ひ、受けさせていただきました。

こちらとしては、国スポに選ばれる選手には「どういう環境でも自分のパフォーマンスを出せるような選手にならないとダメだよ」という話をしていましたので、そういう経験をさせていただきました。

### チームマネジメントに見る「学び」

—その単独チームの様子を、小椋さんはサブダイレクターとしてどのように見ていましたか。

**小椋** 石津さんもそうですが、コーチの岡田さん（樹氏）が素晴らしい方で、お二人が考えた緻密なトレーニングを間近にして「これが勝つ組織なんだな」と思いながら見ていました。

どの試合も、展開的には勝てるだろうと思える試合が続き、特に愛媛との試合をPK戦で勝ち切ったというのがすごく良かったですね。あの試合で、よりチームとしての一体感が出て、三位決定戦までつながったと思っています。本当に間近でいろいろなものが勉強できました。

—ありがとうございました。この経験が南稜高校でも生かされることを期待しています。さて、ここからは改善点に関してお聞きしたいと思います。石津さん、いろいろと挙げていただいていますね。

**石津** 比較することではないのかもしれませんが、群馬で出場させてもらったときと比べて、予算額が違ってましたね。4日間を戦うための最大限の準備をしていきました。

具体的に言うと、自チームの備品を結構持参しました。それで対応はしていましたが、備品の無いチームはどうするのかなと思いました。

**荻野** 決まった予算の中で、ギリギリのところまで対応していただいたと思います。重ね重ね、感謝いたします。

とはいえ、連戦でしたので体調管理、ケアに関してはずっと気にしていました。大会直後のリーグ戦は東京国際大学さんとの埼玉ダービーで勝てなかったじゃないですか。それでも、なんとかリーグ戦は優勝してくれて、そちらのほうでホッとしていたのが正直な気持ちでした。

**石津** 実際、「単独」で国スポへ行っていたチームは、みんなその次の週のゲームでは負けていましたね。やはりハードな大会です。

**荻野** 必要な額は必要なものとして予算建てしなければなりません。また、スタッフへのインセンティブも必要です。

これまでの埼玉の「成年女子」は、ほとんどが浦和レッズレディー



石津遼太郎監督



荻野清明氏

スのユースの選手だったこともあり、さまざまな事が所属チームに任せきりになってしまっていました。これからは体調管理、インセンティブ等に関してもサッカー協会がもっと意識しなければなりませんね。

——報告にもありましたが、試合によって、天然芝になったり、人工芝になったりとグラウンドコンディショニングが日々異なるという試合環境でした。それで連戦。決勝まで戦う上で、トレーナーは何人必要なのでしょう。選手は15人ですね。

**石津** 今回、二人に来てもらいましたから、問題ありませんでした。ただ一人でも、例えば電気治療器や超音波治療器を持参できれば問題ないと思います。こういう機械が複数あれば、なおよいですね。メーカーさんが多分レンタルとかやっていますよ。

**荻野** レンタルですか。4連戦とか5連戦とかを戦うわけですから、最上級のケアをしなればいけないなあって、今回もすごく感じましたね。

**石津** あと、持ち運びできる酸素カプセルもいいですね。寝袋のようなもので、高濃度の酸素を送り込んでくれるので疲労回復が早いです。代表選手だと個人で所有している人もいるそうですね。

——なるほど。こういうところで差がつくわけですね。小椋さん、南稜高校ではどのようにケアをされていますか。

**小椋** 大会期間中はトレーナーさんに入ってもらいますけど、チームとしてケアのための機材はないですね。予算もありません。

東洋大学さんの機材を見たときにはすごくびっくりしました。また、トレーナー室に時間と共に選手が入り出し、システムティックでした。また、お二人のトレーナーさんがすごく明るくて、しかも二人で相談しながら一人の選手のケアに当たっていく感じでしたね。



小椋 大氏

県内の高校生の大会でトレーナーさんがベンチに座っているチームは、ウチ以外見たことがないです。よく考えてみれば、トレーナーさんがいてくれるというのは、当たり前前の環境だと思うのですが……高校の女子サッカーのレベルですと、強度の面ではケガまでいかないという認識なのかなと思っています。

## 選手たちにとってはアピールの場になった

——ありがとうございます。現状をどう認識するかですね。なかなか物理的な課題が多く残った大会だったかもしれませんが、石津さん、改めての感想をお聞かせいただけますか。

**石津** 荒川さんに個人的に取材していただいた時(埼玉新聞掲載)にもお伝えしましたが、私はちょうど国体のレギュレーションがU18からU16に入れ替わった「狭間の世代」だったので、参加できませんでした。今回、埼玉県代表として国スポに参加させていただく機会をいただいたのは非常に光栄で、その中で3位という成績も出せたので非常に記憶に残る大会になりました。

また、チームとしては普段リーグ戦に出ていない選手たちがアピールしてくれて、国スポをきっかけにして、大学リーグ、インカレにつながった選手も何人かいたので、そういった意味でも、非常にいい大会になったと思います。

あとは大会に臨むにあたり、東洋のスタッフだけでなく、長谷川さんと小椋さんに事務的なところのサポートもいただいたこと、本当に感謝しています。また、二年後に推挙していただけるよう、日々がんばっていきたいなと思っています。

**小椋** 主務的な仕事をさせていただきました。初めてのことで、あ



れこれと反省が多かったかなと思っています。

東洋大学のチーム内ですごい競争があって、先ほど監督がおっしゃられていたように国スポも、一つのアピールの場でした。やはり公式戦で力が発揮できるかどうかが問われる中、国スポでの出場、活躍があって、調子を上げた選手とかアピールできた選手もいたことは、東洋さんにとって意味があったのかなと思います。

個人的には控え選手たちのトレーニングをサポートができればよかったかなと思いました。

**長谷川** 本当に東洋大学さんをお願いして良かったと思っています。また、小椋先生にサブダイレクターとして加わっていただき、本当に助かりました。また一人、女子の技術に関わってくれる人が増えたということも収穫でした。

トータル的なバックアップは、荻野さんにしていただきました。皆さんお疲れ様でした。

**荻野** 東洋大学さんに来ていただいたこと、監督さんが「埼玉」を理解して下さっていることもあり、甘えてしまった感があります。

今回の活躍は、今後の埼玉の女子サッカーをけん引していただく一歩なのかなと思って見ていました。朝六時半からの練習も見せていただき、リーグ戦も見せてもらう中で、ぜひ女子の指導者たち——男子の指導者もですね、勉強できる機会をぜひお願いしたいと考えています。埼玉県の技術委員会へのご協力をお願いします。



長谷川 曉雄氏

## 「蹴る」技術の獲得を

——では最後に、石津さんから、埼玉の女性プレーヤーにメッセージをいただけますか。

**石津** 毎年、一年生が入ってきた時に、まずちゃんとボールを蹴ることができるかどうかをチェックしています。実のところ、蹴れない選手の方が多んですよ、圧倒的に。

蹴る技術は、本当は10歳、11歳ぐらいで獲得してほしいです。またキックを蹴り分けることが、18歳過ぎてできていない。ただ力任せに蹴りたいな子が結構多くいます。

回転をかけることができたり、直線のボール、曲線のボール、グラウンダー……キックのところはまだまだ身につけていません。

止めて早く蹴ることも、長いボールも必要です。特にインフロントで蹴ることができる選手が少ない。とにかくキックです。

ボールをしっかり止めて、自分の狙っているボールをちゃんと蹴れるっていうのが大事です。

あとは、単純なフィジカルのところですね。ご飯をいっぱい食べるとかですね。東洋の選手でも、全然ご飯を食べない選手がいます。しかし、アスリートなので、きちんとやればプロになる可能性はぐっと上がると思います。

——小椋さん、長谷川さん、そして荻野さん、現場の指導者として、石津さんからのメッセージをどう受け止めますか。

**小椋** 今回のキックの話は、まさにその通りだと思います。蹴る量の問題だけでなく、身体の使い方とかも含めたキック力も、です。サイドチェンジができない、クロスがファーまで上がらない……こういうところが、世界との差にも繋がっていると思います。早い段階から指導者はキックの重要性を共有する必要がありますね。

**長谷川** 私が指導しているのは、その多くが高校からサッカー始める子たちです。蹴ることは難しいなと思っています。県の女子トレセンのプレーヤーたちを見ていても、上手さはあるけれど、キックの精度は足りませんね。

**荻野** ボールをピシッと止めてパチンと蹴る、狙ったところにきちっと蹴るというレベルの差は、海外に行くと感じますね。女子だけでなく、男子も同じです。もう一度、サッカーという競技を本当に足元から見直す必要あるんじゃないかなって感じますね。

この1、2年で石津さんが求めるレベルの選手を輩出できるかどうか、はっきりは言えませんが、積み重ねていきます。

——石津さん、また皆さんもありがとうございました。2年後と言っても、もう来年です。引き続きよろしくお願いたします。

## ■国スポ成年女子

監督	石津遼太郎	東洋大学		
No. 位置	氏名	所属	前所属	
1 GK	久保 花穂	東洋大学	1FC 川越水上公園メニーナ	
12 GK	徳山 筒子	東洋大学	ちぶれ AS エルフェン埼玉マリ	
2 DF	石塚木乃葉	東洋大学	ちぶれ AS エルフェン埼玉マリ	
3 DF	長尾 ののか	東洋大学	大商学園高校	
4 DF	松浦 加奈	東洋大学	大商学園高校	
5 DF	楠 さやみ	東洋大学	セレッソ大阪ヤンマーガールズ	
15 DF	大箸 桜子	東洋大学	常葉大学附属橋高校	
6 MF	今西 那歩	東洋大学	INAC 神戸レオンチーナ	
7 MF	柳原さくら	東洋大学	大商学園高校	
10 MF	田中 結衣	東洋大学	高崎健康福祉大学高崎高校	
11 MF	平原 花珠	東洋大学	京都精華学園高校	
14 MF	清水 優風	東洋大学	三菱重工浦和レディスユース	
8 FW	北岡 梨愛里	東洋大学	大商学園高校	
9 FW	高岡 澪	東洋大学	藤枝順心高校	
13 FW	中村 優月	東洋大学	大阪学芸高校	

## ②少年男子、優勝した広島県に敗れて5位入賞

### 上田健爾監督（細田学園高校）

まずは各クラブ、高校の皆様へ御礼を申し上げます。ありがとうございました。当初予定からのスケジュール変更などご理解をいただき、選手を送り出していただいたことに改めて感謝いたします。

チームとしてのミッションは日本一になること。関東ブロックを突破し本大会で優勝する。そして、ビジョンは最高の経験を将来のキャリアにつなげる、を掲げてスタートしました。コンセプトも「攻守において主導権を握る闘志溢れるアグレッシブな Football」を目指しました。

まず関東ブロック大会は、千葉県との対戦でした。両者共にシュート数4本、5本という固いゲームとなりました。特に前半は、スローインやコーナーキックからチャンスを作り出せましたが、決め切ることはできませんでした。

後半は、攻め込まれる時間帯が長く続いたものの、しっかりと守り切り、PK戦で勝利することができました(0-0、PK戦は5-4)。

全体的なチームの雰囲気は千葉を上回っていた印象があり、それはこれまでのトレーニングや合宿を通して作り出すことができたものだと思います。また、全員の勝ちたいという思いが強く、チームとして一つにまとまっていたことが勝因の一つであると感じました。

本大会に向けては、9月17日に出発して、熊本の甲佐(素晴らしい環境でした)で前日までトレーニングをし、21日の1回戦を迎え

ました。相手の青森県は全員が青森山田高校の選手でした。相手の特徴であるロングボールをしっかりと処理することができたことで、1試合を通してボールを握り、球際でも圧倒したゲームができました。埼玉の強みである高さを生かしてセットプレーで2得点することができ、勝利しました。

2回戦は北海道でした。コンサドーレ札幌中心に、高体連の早生まれの選手たちが加わっていました。こちらの両ウイングに相手選手が張り付き、なかなかプレッシングをかけることができず、逆にチャンスが多く作られてしまう難しい展開となりました。

しかし、後半以降の選手交代の後、システムを変えたことでプレスがかかるようになり、そこからは少し流れを持って来ることができました。守備は1試合通してしのぎ、GKの岡村の活躍もありPKで勝利することができました(1-1、PK戦は5-4)。

準々決勝は広島県でした。同会場での試合が多かったことから、他県を見ていましたが、広島は一つ抜けた感があり、私自身はこの一戦が事実上の決勝戦と思って臨みました。

ほぼ、ボールを握る試合展開でした。スカウティングで、相手が前からハイプレスをかけてくることはわかっていた中で、相手が来て空いたスペースを突きながら、攻撃をすることができたと思います。この1年間、取り組んできた成果がこの試合ではかなり出せたと思っています。先制しましたが、追いつかれて1-1。失点は、クリアミスからスーパーなゴールでした。全国には、こういうレベルの選手がいると改めて知らされました。

シュートは互いに5本ずつでした。我々はボールを握りながらも、なかなかシュートまで行けませんでした。それが敗因です。あと、2試合連続のPK戦となり、前試合とほぼ同じキッカーで臨みましたが、PK戦の戦術は考えなければならぬと思いました。結果、広島が優勝しました。

成果としては、関東ブロック大会を突破して、全国5位。攻撃では相手が食いついてきたところのスペースを使うこと、そして連携した守備は関東ブロック大会から成熟したと思います。あとタフさ、一体感、スタッフの連携、そして登録できませんでしたがトレーニングパートナーとして帯同してくれた選手がいてくれました。よくやってくれましたし、選手たちは「彼らのために」という声が聞こえてきました。

課題としては、トレセンの活動日に全員が揃うことがなかったものなので、関東ブロック大会までの積み上げが難しかったという



ことです。またスコアリングに対する軸、得点できる形が作れば、接戦の中でも勝利を信じて戦えたかなと思っています。あとはPK戦、メンバーを変えるなどの戦術が必要だということ。最後にシーアの獲得があります。1回戦からではなく2回戦から参加できると、このような長い大会では大事なことだと感じました。

1年間で協力ありがとうございました。歓喜も悔しさも味わった活動になりました。この経験が選手のキャリアと今後の埼玉の発展に繋がってくれば幸いです。



### ③少年女子、PK戦で惜敗

#### 少年女子 石塚智之監督

2022年、U14の県トレセンスタッフに任命されたのを機に、U15～U16と持ち上がって、今回の国スポの監督をさせていただきました。

本大会では初戦敗退と、本当に残念な結果でした。福井県を相手に、立ち上がり5分に先制でき、いいゲーム展開でした。しかしながらCKから失点してしまい、同点にされると追加点が奪えないままPK戦(3-5)で敗退してしまいました。セットプレーの確認と準備が足りなかったこと、一番はフィニッシュの精度でした。特にフィニッシュに関しては、4種からの積み上げが必要だと改めて痛感しました。

今回は新たに女性のトレーナー(武藤沙織さん/西大宮病院)にも加わってもらうなど、サポートも十分でした。ただ自分の責任というか、まだまだ指導者としての力量が不足していたことによる結果であり、選ばれたプレーヤーたちは本当によくやってくれました。プレーヤーたちに、またスタッフに感謝したいと思います。

具体的な反省としては、ここまで持ち上がってきたプレーヤーたちと、U16で加わってくれたレッズレディースユース、ジュニアユースのプレーヤーたちの融合でした。何が難しかったかという点、プレーヤーのレベル差です。これまで県トレセンで行ってきたトレーニングの基準は街クラブの延長であり、レッズのプレーヤーにとってはトレーニングの負荷が足りなかったと思っています。もっとレッズのレベルに近づけるべきでした。

この点に関しては、今年度からせつかく神戸さん(慎太郎氏/三菱重工浦和レッズレディース・育成サブダイレクター)に「アドバイザーコーチ」として入っていただいていたので、もっと相談すればよかったのです。コミュニケーション不足だったことも申し訳なく思います。その点で堀さん(達也氏/少年女子サブダイレクター【川口市立高校】)に負担をかけてしまいました。

振り返ると、最後の最後でみんなで泣いた瞬間、やっとチームとして一つになれたような気がしました。15歳、16歳という多感な時期の子どもたちに、どうすれば安定した力を引き出してあげられるか……これからの自分としての課題と捉えながら、次のステップに向かいたいと思います。関わってくれたプレーヤーの皆さんには、ここからの活躍を期待しています。ありがとうございました。

#### ■国スポ少年男子

監督	上田 健爾		細田学園高校
No.	位置	氏名	所属
1	GK	岡村 泰志	大宮アルディージャU18
12	GK	服部 瑞希	昌平高校
2	DF	熊田 佳斗	大宮アルディージャU15
3	DF	木寺 優直	大宮アルディージャU18
4	DF	中澤 凜	大宮アルディージャU18
5	DF	田中 義峯	浦和レッズユース
6	DF	薄井 翼	浦和レッズユース
15	DF	三上 蓮恩	細田学園高校
7	MF	小坂 真聖	大宮アルディージャU18
8	MF	小川 直澄	浦和レッズユース
10	MF	神田 泰斗	大宮アルディージャU18
14	MF	飯島 碧大	昌平高校
9	FW	エドワード真秀	大宮アルディージャU18
11	FW	中村虎太郎	浦和レッズユース
13	FW	中島 大翔	大宮アルディージャU18
16	FW	久良木慶斗	大宮アルディージャU18



#### ■国スポ少年女子

監督	石塚 智之		AzuLente KAZO
No.	位置	氏名	所属
1	GK	國分ここね	大宮アルディージャ VENTUS U15
16	GK	澤浦 花穂	ちふれASエルフェン埼玉マリU15
2	DF	佐藤 百音	大宮アルディージャVENTUS U18
3	DF	高久ももか	三菱重工浦和レッズレディースユース
4	DF	熊谷 香季	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース
6	DF	眞崎 玲愛	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース
5	MF	黒鳥レイラ	三菱重工浦和レッズレディースユース
7	MF	村松 栞帆	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース
8	MF	山内 南奈	ちふれASエルフェン埼玉マリU18
9	MF	宮野 咲希	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース
12	MF	内山わか菜	大宮アルディージャVENTUS U18
10	FW	宮島加奈絵	川口市立高校
11	FW	八木沼陽毬	ちふれASエルフェン埼玉マリU18
13	FW	平山 優陽	三菱重工浦和レッズレディースユース
14	FW	高橋 佑奈	三菱重工浦和レッズレディースユース

# O-35 埼玉県選抜、日本一に ～日本スポーツマスターズ 2024 長崎大会～

監督 村山秀樹 (与野蹴魂会)

今回、県内でプレーを続ける35歳以上の選手たちで結成された「O-35 埼玉県選抜」が関東予選を突破し、長崎での全国大会で優勝することができました。ありがとうございました。

この大会は正式名を「日本スポーツマスターズ」といって、2001年から始まりました。スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代（原則35歳以上）を対象とした総合スポーツ大会です。大会概要によると日本スポーツマスターズは、かつてオリンピックや全日本の選手として活躍したトップアスリートと、各地域で日々練習を重ねてきた選手が同じ舞台上で日本一をかけて戦うことができる大会という事です。

サッカーではシニアのカテゴリーがあり、こちらは40歳以上となっています。その下が1種、社会人。今回集まってくれた選手たちは35歳以上で、まだシニアでもないのですが、社会人としては大ベテランです。若いプレーヤーに負けたくない、まだまだがんばっている選手たちだと思ってください。

振り返ると2014年に埼玉県で開催され、そこで「埼玉県選抜」は3位になりました。2016年の秋田県大会から監督を拝命し（うち4年間ブランクはありましたが）、選抜チームに関わってきました。本格的に選手選考をするようになった2020年、2021年は関東予選を突破したものの、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止となりました。

実は私自身の意識が変わったのは、次の2022年岩手大会に向けた関東予選で敗退した後でした。千葉県との代表決定戦に敗れた後、35歳以上にもなった彼らが皆、悔し涙を流したのです。この年になっても、やはり負ければ悔しいです。選手たちを見て、全国大会に行きたいと強く思うようになりました。

残念ながら、2023年の関東予選ではまたも千葉県に敗れました。しかし、今回2024年の関東予選で連敗中の千葉県を破って代表権を獲得し、本大会出場を決めました。目指したのは、日本一。そしてその目標を叶えることができました。

今回は、例年以上にまとまったチームになったと思います。2020年から選手兼コーチとして関わってくれている木戸洋平さん（越谷シニア。大宮工業高校教諭）を中心に、今年からは甲能光さん（さいたまSC。所沢西高校教諭）をヘッドコーチに迎えました。毎年、4～5回開催している選考会には100人以上もの申し込みがある中、「やる気」を行動に示すことができる選手を中心に20名をセレクトしました。自チームを優先にしてもらっていますが「それでも」という選

手たちでしたので、本当によくやってくれたと思います。

次年度、2025年は愛媛大会です。関東の枠は3つとなりました。ぜひとも全国大会に出場し、我々しかできない「連覇」を目指したいと思います。よろしくお願いいたします。

なお、先日の2025年2月15日(土)～16日(日)に関東予選が行われました。1回戦では千葉県に辛勝し、代表決定戦では東京都の猛攻に対して、大貫主将を中心としたDF陣が頑張り、1-0で勝利して2年連続で全国大会の出場権を獲得しました。愛媛大会は、9月20日(金)～23日(火)です。選抜チームは一旦解散して、7月からのTR&TRMを行う予定です。

## ■ O-35埼玉県選抜

監督	村山 秀樹	与野蹴魂会
位置 No.	氏名	所属
GK 1	大河原弘樹	大成シティフットボールクラブ坂戸
GK 12	松井 匠	さいたま SC セカンド
DF 2	小松 靖和	さいたま SC セカンド
DF 5	日攄 翔	CALIENTE KUMAGAYA
DF 7	河村 祐希	FC カラスト
DF 13	三澤 慶一	FC BOWTH
DF 20	木戸 洋平	東春 72
MF 3	齊藤 雄太	FC 3DEP
MF 4	大貫 真吾	大成シティフットボールクラブ坂戸
MF 6	鎌田 雄	さいたま SC
MF 8	小助川慶太	FC BOWTH
MF 9	千葉 雅仁	大成シティフットボールクラブ坂戸
MF 10	矢内 徹	大成シティフットボールクラブ坂戸
MF 11	鈴木 雄大	R.F.C Tokyo
MF 14	青木 克	さいたま SC
MF 15	荒井 優	さいたま SC セカンド
MF 16	山口 俊輔	与野蹴魂会
MF 19	藤崎 良	さいたま SC セカンド
FW 17	中村 大樹	大成シティフットボールクラブ坂戸
FW 18	塚本 浩史	CALIENTE KUMAGAYA



## FC. 西武台 榎田祐造監督に聞く～

# JFA 第12回全日本O-40サッカー大会。初優勝



「40代で日本一、50代でも日本一」。そう思ってシニアを立ち上げました。今、0-50も作りました。

一昨年、50歳を前にして関東大会でまさかの敗退を喫し、全国大会への道が閉ざされました。目標を叶えられないと思い、身を引こうかなと思いました。すると、周りから「来年(2024年)の11月は、まだ49歳だから」と止められました。「そうか、早生まれだからいいのか。もう一年やってやろう」と決心し、今回は関東大会を突破し、全国大会へ進み、日本一になることができました。この1年半、選手たちが本当ががんばってくれました。お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。大会を通じて、無失点での優勝は我々が初めてだったそうです。

振り返ると西武台高校を卒業して日本体育大学に進み、守屋先生(保氏)から「一緒に全国に行こう」とお誘いいただき、母校で教師になりました。社会人チームを作ったのは2000年。まだ教師をしていました。立ち上げ当初からスローガンは「昼も夜も日本一」。半分冗談も入っていましたが、年を重ねるうちに本気で「日本一」になることを夢見るようになりました。すると、昼間は当然ですが、夜の過ごし方も変わっていきました。意識、行動が変わったのです。結果的には日本一になるために、それぞれ24時間の過ごし方が問われる、ということ。日本一になることは、簡単なことではありませんから。

### 私のポジションは GK です。

ずっと、戻りたい場所がありました。高校3年、高校選手権の県大会準決勝の大宮公園サッカー場。相手は、結果的に全国へ行った武南でした。当時の武南のエースにゴールを許して、涙を飲みました。そう、ずっとあの試合前に戻りたいと思い続けていました。もう一度武南と戦い、勝って、選手権に出たい。そう思っていたのです。

それがシニアリーグのある試合で、私からゴールを奪った選手と対戦することができたのです。相手チームのメンバーは試合直前にわかったことなのですが、あの高3のとき同じピッチに立った仲間たちと気合を入れ直しました。あの瞬間、シニアの試合会場が、私にとって大宮公園サッカー場になったのです。

そして、まさかなのですが、ゴールを決められた同じ場面が目の前に広がり……今度はシュートを止めることができました。試合にも勝ちました。その後、あの大宮公園サッカー場に戻りたいという

気持ちは無くなりました。シニアでもサッカーを続けてきてよかった、と改めて思います。

あの延長にあるのが、今回の日本一だと思っています。

全国的にシニアサッカーの熱は上がる一方です。関東でもシニアの強豪チームが集い「関東EXリーグ」を立ち上げて、サッカーを楽しんでいます。「もう一度夢を見ないか」「サッカーで新しいつながりを」。サッカーだけでなく、仲間との出会いをビジネスチャンスにつなげようというのは、シニアならではのと思っています。

トレーニングは水曜日の夜だけ。あとは週末の試合です。とにかく、どれだけトレーニングで自分自身を追い込むことができるのか。誰もが今も挑んでいます。つなぐ、剥がす——蹴ってくる相手チームが多い中、我々は西武台OBとしてプライドを持っています。そこにはこだわります。OBでなくとも、基本技術があれば、ウェルカムです。

さて、今回の優勝で努力すれば叶うことを体験しました。大会後、守屋先生からは「祐造に先を越されるとはな」と言っていただきました。次は0-50で日本一。そして0-60でも。そうそう、仲間たちからはすでに「0-60になっても走らされるのか」との声が聞こえています(苦笑)。



榎田祐造監督



## 昨年10月、11月で2度の「日本一」に輝いた塚本浩史さんに聞く

埼玉県選抜O-35の一員として出場した「日本スポーツマスターズ2024長崎大会」、またFC.西武台O-40の一員として出場した「JFA第12回全日本O-40サッカー大会」と続けて「日本一」。稀有で素晴らしい経験をされた、塚本浩史さんにお話を伺いました。(構成/広報委員・荒川裕治)

ユース時代から、プロ選手を夢見ていましたが、プロへの道は甘くありませんでした。大学を卒業して埼玉に戻ってきましたが、サッカーは一度辞めました。いろいろと誘っていただきましたが、自分としては、大学でやり切った感があったのです。そんな中で、3歳下の弟(泰史さん・RB大宮アルディージャクラブアンバサダー)が大学を卒業して大宮アルディージャに入ることになったことで、やはり自分の中でくすぶっていたものが顔を出してきました。弟が夢を叶えたことがうらやましい、かなあ……。[ならばもう一度]と思い、アヴェントゥーラ川口(当時、県1部)にお世話になりました。26歳のときでした。



塚本浩史さん

しかし、弟がプロになって3年目を前にメディカルチェックを受けた際、骨肉腫が発見されました。

[なんとかできないか][なんで俺じゃないんだ][俺の足をあげたい]……しかし、どうにもなりません。残念ながら弟は人工関節を入れることになり、主治医の先生からは「サッカーはできません」と宣告されました。

どうすればいいのか。サッカーをできる環境を整えてあげればいいと考えました。そのためには、まず私がサッカーを続けることではないか考えたのです。私がかんばる姿を見せることで弟のかんばる力になるのではないかと……。今年43歳になりますが、サッカーを続けている原動力は弟です。弟のために続けていると断言できます。サッカーをしたくてもできない……。これは私の使命だと思っています。

振り返ると、今まで努力らしい努力をしてきませんでした。大学生の頃、プロになりたくて努力していたかと……。苦笑。弟が病気になってから、努力するようになったと思います。

今回、O-35、シニア40と続けて日本一を体験することができました。ありがとうございました。ここまで続けてきたことを、本当によかったと思っています。声をかけてくださった仲間たちに感謝します。

実は、日本一を2度も経験させていただき、今回はやり切った感

がありました。ですが、弟からは「ここで辞めるのは許さないからね」と言われてしまいましたので、もう少し、サッカーを続けていくことにしました。

日本一になるというのは、簡単なことではありません。マスターズに関しては、36歳の年から選抜チームに呼んでもらっていますが、コロナ禍であって、今回初めて全国大会に出場することができました。選抜ですので、メンバーは県リーグで先頭に立っている選手たちです。その中でプレーできたのは楽しかったですし、プレーそのものもそうですが、サッカーに打ち込む姿勢も勉強させてもらいました。

京都戦では先制点(結果、1-1からのPK戦勝利)、こちらが10人なってしまった準決勝の長崎戦で逆転ゴールの2ゴールで、優勝に貢献することができたと思います。

FC西武台O-40には、2年前から参加させていただいていました。以前の仲間から誘われて、さらに代表の榎田祐造さんから「どうしても全国に行きたいから」と声をかけてもらいました。ただ社会人、1種でも登録していることから(県1部・CALIENTE KUMAGAYA所属)、なかなか練習に参加できないことも理解していただいた上で、でした。

チームの皆さんは、真面目で熱くて、本当に試合に出たがっています。そんな中で大きな大会に向けた練習だけ参加させてもらっているような心苦しい状態が続く中、今大会はとにかく試合に出たら結果を出して認めてもらおうと思って挑んできました。グループリーグの初戦で2得点、2戦目で1得点、そして決勝戦で先制点を挙げることができました。日本一になって、仲間としてようやく認めてもらえたような気がします。声をかけていただき、ありがとうございました。

とにかく、ここまで続けてきてよかったなと思っています。改めて、私に関わってくださる皆さんに御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。

塚本浩史さん……川口市出身。1982年6月3日生まれ。

【選手歴】戸塚JFC～柏レイソルジュニア～柏レイソルジュニアユース～柏レイソルユース～静岡産業大学～アヴェントゥーラ川口～飯能セボジータス/クマガヤSC/CALIENTE KUMAGAYA+FC.西武台

## 女子フットサル埼玉県選抜、初の日本一 ～日本トリム Presents 第16回全国女子選抜フットサル大会

11月15日から17日にかけてグリーンアリーナ神戸で開催された「日本トリム Presents 第16回全国女子選抜フットサル大会」で、埼玉県選抜が初優勝しました。今回、チームの中心となった Ambition (関東女子フットサルリーグ)の高橋 彩選手、今大会 MVP に輝いた同じく菅谷野々花選手、そしてこちらも同じく安東恭治監督に話を伺いました。

### 高橋 彩 選手

川口市出身で中、高はジェフ千葉のアカデミーでプレーしていました。大学2年からこのチームに入りました。

日本一になることは、どの種目でも限られた人にしかできないことだと思っています。この優勝は自分の中では大きな経験になりました。ありがとうございました。

私はサッカーではセンターバックでした。あまり走らなくてもいいポジションでしたが、フットサルだと常に連動していなければなりません。5人誰もがボールを持ち、関わる瞬間に「主役」になるというところが面白いと思っています。

チームとしてもまだ全国大会(地域女子フットサルチャンピオンズリーグ。2/21～宇都宮市)が残っています。こちらでも日本一を目指したいと思っています。

【これからフットサルを始めたいと思っている皆さんへ】

私にとっては、たまたまサッカーでフットサルが「楽しい時間」になっています。多分、40歳になっても、50歳になっても、プレーできる環境があれば続けられるスポーツです。「遊び」としてでもいいので、まずは興味を持ってほしいですね。



## 菅谷 野々花 選手

山梨県出身です。小学校時代にフットサルから始めて、中学から大学まではサッカーしていました。都内で就職したこともあり、このチームでフットサルに戻ってきました。今は楽しく、プレーしています。

日本一になれたことは、うれしいです。初めてのことでしたから、本当にうれしいです。ありがとうございました。また MVP に選ばれたことは驚きでしたが、評価していただき、感謝しています。

高橋選手と同じで、この優勝をステップにして「地域女子フットサルチャンピオンズリーグ」で優勝したいですし、来年度になりますが「全日本女子フットサル選手権大会」に出場して、優勝したいとも思っています。応援をお願いします。

### 【これからフットサルを始めたいと思っている皆さんへ】

ゴールを決めたらうれしいとか、ドリブルで相手を抜けたら楽しいなど「経験」してほしいですね。そのためにも、フットサルを経験できる場がもっと増えればいいですね。

## 安東 恭治 監督

今シーズン、Ambitionの監督に就任して、今回の選抜チームの監督を任せていただきました。昨年このトリムカップでは埼玉県が3位ということあり、今回の出場にあたっては大きな期待を感じました。

選手はAmbitionの選手を中心に構成しましたが、他のチームからの選手も含め、参加してくれた彼女たちは本当によくやってくれたと思います。

関東予選では、決勝で東京に敗れたため(1-1 PK3-4)、関東の第2代表として本大会に出場しました。

本大会では、選手たちが試合ごとに調子を上げてくれ、「あれよ、あれよ」という間に決勝に進むことができました。ただ、誰もこれまでに日本一になった経験がないものですから、なんだかフワフワした感じでしたようです。とにかくよかったです。選手たちには、この経験を生かしていきたいと思っています。

県内的に、女子のフットサルの強化はこれからのような気がしています。まだ、フットサルそのものを経験したことのない人も多いのではないのでしょうか。こういう選抜チームを指導して思うことは、底辺の拡大が急務ということです。例えば、今回の大会でも京都府選抜には高校生も参加していました。埼玉でも高校生など育成年代の女の子たちを巻き込んでいきたいと思うのです。

自チームのアピールになってしまいますが、Ambitionの選手たちの大半は、このチームに入ってからフットサルを始めています。それでも、ここまで成長してくれました。ぜひ、この優勝で一人でもフットサルに興味・関心を持っていただけると幸いです。ありがとうございました。

## ■女子フットサル埼玉県選抜チーム

監督	安東 恭治	Ambition
No. 位置	氏名	所属
1	GK 阿部 千優	Ambition
2	FP 堀江 彩乃	Ambition
4	FP 矢端 未結	Ambition
5	FP 森田 若奈	Ambition
6	FP 池田 絢音	Ambition
7	FP 高橋 彩[Cap]	Ambition
8	FP 神谷 優子	Ambition
9	FP 古川 遥菜	Ambition
10	FP 菅谷野々花	Ambition
12	GK 小林加代子	Ambition
14	FP 小野寺史織	さいたま SAICOLO PENTAS
16	FP 荻野 純菜	Ambition
17	FP 戸井田萌里	AOH Ladies
19	FP 矢尾 鈴華	Ambition



左より 高橋 彩 選手、菅谷 野々花 選手、安東 恭治 監督



## JFA キッズプログラム巡回指導～埼玉トヨペット様との協働実施

12月6日に秩父市永田保育所において、巡回指導を行いました。年中組8名、年長組14名の園児と一緒にサッカーを楽しみました。担当はFCコルージャの石川裕次郎さんと倉林宏河さんにお願ひしました。そして今回は、埼玉トヨペットから遠山ちひろさん、若田あやかさんのお二人にも参加していただきました。遠山さん、若田さんには7月にキッズリーダーの資格を取っていただき、初のコーチとしての参加でした。ありがとうございました。

今後は埼玉トヨペットの皆さんにもコーチとして加わっていただき、よりよい巡回指導を行っていききたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 遠山ちひろさん

(埼玉トヨペット株式会社 営業推進部 販売促進課 スタッフ 主任)

弊社「埼玉トヨペット株式会社」は、埼玉県内に6つあるトヨタ自動車の販売会社の一つであり、県内には65店舗を展開しております。近年、弊社としましては、県内各地域のお子様たちのスポーツ活動支援を行っており、これまでもサッカー、野球、卓球、バスケットボールなどのスポーツ教室を開催してまいりました。そのような活動を通じて『幼稚園・保育園への巡回指導に関わることはできないだろうか』と模索しており、地域の皆様と繋がりを深めながら、スポーツ振興に寄与したいと思っております。

全国の販売会社向けのサイトを見ている中で、トヨタ自動車の取り組みとして、(公財)日本サッカー協会様との協働事業としてキッズの巡回指導をされていることを昨年の3月に知りました。

5月に川口市内の保育園の巡回指導を視察させていただきました。その後社内にて検討を行った結果、ぜひ協働させて頂きたいという話になり、7月には私も含めた販売促進課、社内のフットサルチームメンバーを合わせた15名が「キッズリーダー講習会」を受講し、12月に同じ販売促進課の若田と私が秩父での巡回指導に参加させていただきました。

実は、私自身は日頃、運動を全くしておらず、講習会でも足手まといになっていたと思いますが、そういう私でも、この巡回指導は楽しい時間となり、とにかく子どもたちの動きの速さには驚きました。

1時間という短い時間ではありましたが、ゲームを見ていると、年中さんと年長さんでは「動き」が違います。年中さんはとにかくみんなでボールを追いかけていくのですが、年長さんになると誰もゴールキーパーが必要なんて言っていないのに何人かゴールの前で待っているんです。ボールを奪う、ゴールを防ぐという役割の子どもたちがいました。すると、相手チームが真似し始めて……自然とゲームになっていきました。

1歳違うだけでこんなに違うものなのか、と思いました。

また学びも多くありました。保育士さんたちの子どもへの接し方や、SFAのスタッフの皆さんの声かけも参考になりました。子どもたちの笑顔にも接しながらも、かつ個人的にも得るものが大きかったと思っています。

これをスタートに、できるだけ参加させていただきたいと思っています。私たち埼玉トヨペットの「キッズリーダー」が番をお待ちしています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



### 石川裕次郎さん

(FCコルージャ監督)

私がキッズの巡回指導を担当し始めて、すでに10年が過ぎました。今回の秩父市・永田保育所のような年代の子どもたちには、まずはサッカーに触れて、楽しんでもらえればと思っています。サッカーを始めるきっかけになればありがたいと思って活動しています。実際、私たちの巡回指導を経験した子どもたちが数年後ですが、指導しているクラブに入ってくれたということもあります。やはり、うれしいことです。

さて、今回の埼玉トヨペットさんとの協働は大変有意義な時間となりました。こちらとしては事前にお伝えしたのは「一緒に身体を動かしてください」ということだけでしたが、積極的に関わっていただき、中にはぐずる子どももいたりしたのですが、あやしていただいたりしたのは助かりました。関わる大人が多いと、参加してくれる子どもたちも活気づいてくれます。

永田保育所の子どもたちは、本当に楽しそうでした。今回ご一緒していただいた遠山さん、若田さんは楽しんでいただけたでしょうか。こちらとしては素晴らしい「仲間」になっていただきました。感謝いたします。

私たち指導者は、もっと多くの子どもにボールに触れてほしいと願っていますし、身体を動かすことは楽しいんだ、ということ伝えていきたいと思っています。これからも埼玉トヨペットさんにはぜひご協力いただきたいと思います。

最後になりますが、北部は少子化もあり、サッカーをする子どもの数も減ってきています。例えば小学校においては、毎年続けて指導に伺える「モデル校(拠点校)」を設定するなどして、子どもの状態や変化を追いかけるような取り組みができればとも考えています。そういう動きかけが、よりよい環境を整える基礎になればと思っています。

この巡回指導が子どもたちにとって、有意義な時間になるよう、今後も取り組んでいきたいと思っています。



# 第18回埼玉県第4種サッカーリーグ・選手権大会 エクセレントフィートFCが初優勝!

「第18回埼玉県第4種リーグ戦」は今回から「県リーグ(S1・S2)」が創設され、443チームが参加して昨年4月から開催されました。県リーグ所属の16チームと各地区ブロック1位の49チーム、合わせて65チームのトーナメントで「埼玉県第4種選手権大会」が11月17日に開幕し、12月15日に準決勝と決勝が行われました。決勝ではエクセレントフィートFCが大宮アルディージャU12を延長戦で振り切り、今大会の初優勝を飾りました。

主催 (公財)埼玉県サッカー協会  
 主管 (公財)埼玉県サッカー協会第4種委員会  
 後援 埼玉県/NHKさいたま放送局/テレ玉  
 FM NACK5/埼玉新聞社

協賛  





特別協力 **URAWA REDS** 



決勝 エクセレントフィートFC vs 大宮アルディージャU12

準決勝 戸塚フットボールクラブジュニア vs エクセレントフィートFC



準決勝 大宮アルディージャU12 vs レジスタFC



優勝したエクセレントフィートFC

## 大会記録 ● 県内大会

### 1種

#### 2024年度埼玉県社会人サッカーリーグ1部(後期)

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	Tokyo International University	15	5	0	0
2	さいたまSC	12	4	0	1
3	大成シティFC坂戸	6	2	0	3
4	FCカラスト埼玉南部	6	2	0	3
5	東京国際大学ドリームス	6	2	0	3
6	ACアルマレッザ入間	0	0	0	5

### 2種

#### 高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ 2024 埼玉 S1

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	聖望学園	43	14	1	3
2	正智深谷	38	12	2	4
3	昌平Ⅱ	35	11	2	5
4	細田学園	31	9	4	5
5	成徳深谷	25	7	4	7
6	浦和南	24	6	6	6
7	武南	22	6	4	8
8	武蔵越生	19	5	4	9
9	市立浦和	15	4	3	11
10	立教新座	2	0	2	16



優勝 聖望学園



聖望学園 vs 浦和南

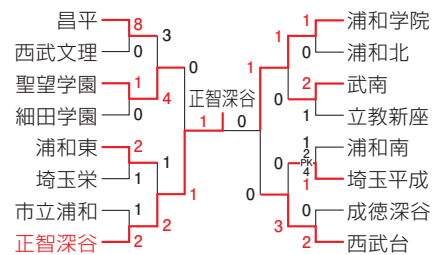
### U-16 埼玉県サッカーリーグ 2024

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	西武台	25	8	1	1
2	浦和レッズ	21	7	0	3
3	成徳深谷	20	6	2	2
4	大宮アルディージャ	19	5	4	1
5	正智深谷	18	6	0	4
6	昌平	15	5	0	5
7	聖望学園	14	4	2	4
8	武南	13	4	1	5
9	武蔵越生	7	2	1	7
10	市立浦和	6	1	3	6
11	本庄東	0	0	0	10

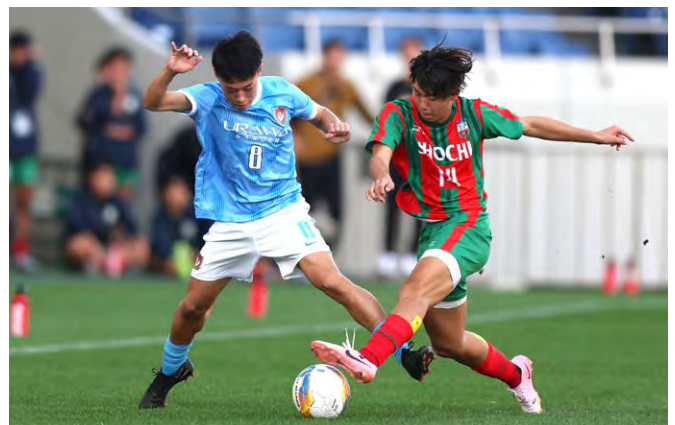
### 高体連

#### 令和6年度第103回全国高等学校サッカー選手権大会 埼玉県大会決勝トーナメント

10月13日～11月17日 埼玉スタジアム他



優勝 正智深谷



決勝 正智深谷 vs 浦和学院

### 3種

#### 高円宮杯 JFA 第36回全日本U-15サッカー選手権大会 埼玉県予選

8月31日～9月21日 県内各地

第1代表 ACアスミ 5-1 ALEX

第2代表 プレジール SC 0-0 聖望学園中 (5PK6)

第3代表 CAアレグレ 1-0 埼玉栄中

- 第4代表 成立ゼブラ 3-0 アピリスタ
  - 第5代表 西武台新座中 3-1 ファルカオ喜
  - 第6代表 FC KASUKABE 0-1 JOGADOR
  - 第7代表 FC 深谷 2-1 立教新座中
  - 第8代表 FC コルージャ 0-1 三郷ジュニア
- ※各代表と関東リーグ参加チームが関東大会へ出場

**高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ2024  
埼玉第17回埼玉県ユース(U-15)サッカーリーグ1部**

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	クマガヤ	28	9	1	1
2	プレジール	27	8	3	1
3	アレグレ	27	9	0	3
4	アスミ	22	7	1	3
5	ペレーニア	19	6	1	5
6	成立ゼブラ	14	4	2	5
7	FC深谷	9	2	3	7
8	KASUKABE	7	2	1	9
9	ディプロ	5	1	2	8
10	南浦和中	5	1	2	7

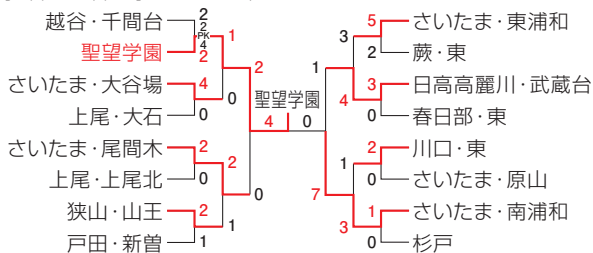
**埼玉県ユース(U-13)サッカーリーグ**

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	FC深谷	20	6	2	0
2	ペレーニア	18	5	3	0
3	1FC	13	4	1	3
4	アレグレ	12	3	3	2
5	プレジール	10	3	1	4
6	ディプロ	8	2	2	4
7	聖望学園中	8	2	2	4
8	JOGADOR	5	0	5	3
9	GRAMADO	4	1	1	6

**中体連**

**令和6年度新人体育大会兼第37回県民総合スポーツ大会 兼  
第34回テレビ埼玉旗争奪サッカー大会**

11月7日~17日 埼玉スタジアム他



優勝 聖望学園

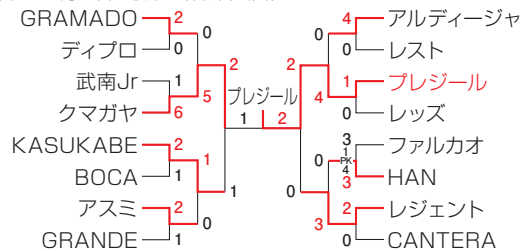


決勝 聖望学園 vs 南浦和

**クラブ**

**第34回埼玉県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会**

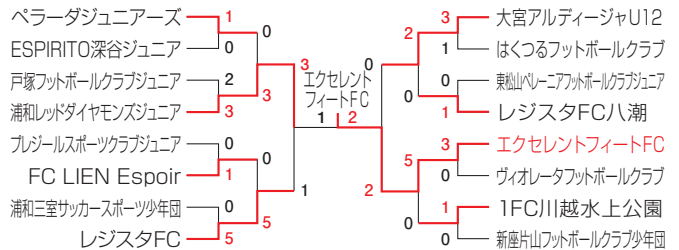
9月28日~12月7日 秋葉の森総合公園他



**4種**

**JFA 第48回全日本U-12サッカー選手権大会埼玉県大会**

10月20日~11月9日 埼玉スタジアム第2グラウンド他



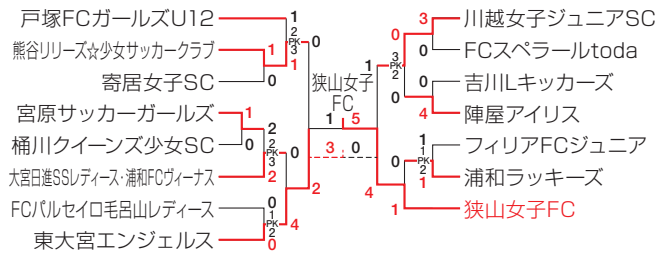
優勝 エクセレントフィート FC



決勝 エクセレントフィート FC vs 浦和レッドダイヤモンズジュニア

### 第36回埼玉県少女サッカー大会

11月10日、17日 埼玉スタジアム第2グラウンド



優勝 狭山女子 FC



決勝 狭山女子 FC vs 東大宮エンジェルス

### 女子

#### 2024年度第17回(公財)埼玉県サッカー協会会長杯(兼)第46回埼玉県女子サッカー選手権大会

12月7日、14日 埼玉スタジアム第3グラウンド他

1回戦 東京国際大学 6-0 文教大学

大東文化大学 0-2 東洋大学

決勝 東京国際大学 5-2 東洋大学

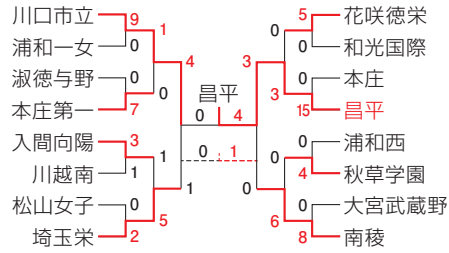
#### 2024年第32回埼玉県女子サッカーリーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	文教大学	24	8	0	1
2	三菱重工浦和レズレディースジュニアユース	24	8	0	1
3	Angels	16	5	1	3
4	INAC白岡	16	5	1	3
5	GRAMADO FC	15	5	0	4
6	白岡レディース	15	5	0	4
7	大宮アルディージャVENTUS U15	9	2	3	4
8	上福岡女子SC	7	2	1	6
9	FC楓鼎LL	5	1	2	6
10	越谷LF	0	0	0	9

※優勝した文教大学は、第31回関東女子サッカーリーグ・2部参入トーナメント大会に出場

### 令和6年度埼玉県高校女子サッカー選手権大会

8月23日~9月15日 埼玉スタジアム第3グラウンド他



※昌平高校は初優勝。昌平高校は第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会に出場。準優勝川口市立、3位南稜高校は第33回関東高等学校女子サッカー選手権大会に出場。



優勝 昌平



決勝 昌平 vs 川口市立

#### 2024年度SFA U-18女子サッカーリーグ1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	大宮アルディージャVENTUS U18	30	10	0	0
2	1FC川越水上公園メニーナU18	24	8	0	2
3	川口市立高校I	24	8	0	2
4	INAC白岡U18	22	7	1	2
5	南稜高校I	15	4	3	3
6	花咲徳栄高校	14	4	2	4
7	浦和西高校I	12	4	0	6
8	本庄第一高校	8	2	2	5
9	埼玉栄高校	6	2	0	8
10	松山女子高校I	3	1	0	9
11	入間向陽高校	0	0	0	9

## 2024 第29回埼玉県女子ユース(U-15)サッカー大会

8月31日～9月21日 与野八王子グラウンド他

トーナメント表

1FC川越水上公園メニーナFC  
 越谷レディースファミリー  
 フィリアフットボールクラブ  
 熊谷リリーズジュニアカサブランカ  
 FCスペアール toda U15  
 クラブ与野レディース

大宮アルディージャ  
 大宮1  
 アルディージャ  
 0  
 5  
 1  
 0  
 1

1FC川越水上公園メニーナFC  
 戸塚FCガールズU15  
 Bruder SV Frauen  
 FC フェミニノ川越  
 zuLenzte KAZO Glanz FC  
 大宮アルディージャVENTUS U15

8  
 2  
 1  
 10  
 0  
 2

7  
 7  
 1  
 4  
 0  
 4

優勝は大宮アルディージャ VENTUS U15

## シニア

### 2024年度埼玉県0-40サッカーリーグ1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	セレソン所沢	31	10	1	0
2	FC.西武台	28	9	1	1
3	SOL TODA	23	6	5	0
4	STR三郷	17	5	2	4
5	VAMOS鳩山	14	4	2	5
6	クマガヤSC	14	4	2	5
7	ガルサ越谷	13	3	4	4
8	ラホージャ	10	2	4	5
9	SxS越谷	10	2	4	5
10	東春	8	1	5	5
11	与野シニア	8	2	2	7
12	NAMEGAWA	4	0	4	7

### 2024年度第37回埼玉県0-40県民総合スポーツ大会 兼 YASUDA カップ

9月22日～12月15日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他

トーナメント表

FC Barcelona越谷シニア  
 KFC FUKAYA 0-40  
 鴻巣ラホージャFC alma  
 セレソン所沢40  
 与野シニアフットボールクラブ  
 クマガヤスポーツクラブ0-40  
 フォールビタネーロ川越シニア0-40  
 FC.西武台

1  
 0  
 0  
 4  
 1  
 0  
 1  
 3

1  
 2  
 0  
 1  
 3  
 5  
 0  
 1

SOL TODA  
 越谷フットボールクラブ  
 SxS越谷40  
 東春72シニアFC-40  
 新明シニアサッカークラブ40  
 川口サッカークラブ  
 吉見エスカーフフットボールクラブ  
 VAMOS鳩山SC40

3  
 0  
 4  
 4  
 1  
 0  
 3  
 1

優勝はセレソン所沢 40

### 2024年度埼玉県0-50サッカーリーグ1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	FC.西武台	30	10	0	1
2	FC浦和	28	9	1	1
3	クマガヤSC	27	9	0	2
4	越谷シニア	24	8	0	3
5	セレソン所沢	15	4	3	4
6	FC上尾	13	4	1	6
7	東松山オールパワーズ	13	3	4	4
8	パルスFC	13	4	1	6
9	川口シニア	12	3	3	5
10	ロクFC	11	3	2	6
11	VAMOS鳩山	2	0	2	9
12	大宮シニア	1	0	1	10

## 2024年度第22回埼玉県サッカー選手権大会0-50 兼 YASUDAカップ

9月22日～12月15日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他

トーナメント表

FC浦和シニア  
 クマガヤスポーツクラブシニア  
 新明シニアサッカークラブ  
 大宮シニアFC  
 越谷シニアサッカークラブ  
 東松山ペレニアFC  
 NTTシニア  
 ロクフットボールクラブ

1  
 1  
 1  
 2  
 2  
 0  
 2  
 0

1  
 1  
 0  
 2  
 2  
 0  
 1  
 0

FC.西武台  
 FC.西武台  
 FC.西武台  
 FC.西武台  
 FC.西武台  
 FC.西武台  
 FC.西武台  
 FC.西武台

0  
 0  
 0  
 0  
 0  
 0  
 0  
 0

0  
 2  
 0  
 7  
 0  
 0  
 1  
 0  
 3

深谷SFCフェニックス  
 VAMOS鳩山SC  
 FC.西武台  
 藤シニアサッカークラブ  
 セレソン所沢シニア  
 SxS越谷  
 東春72シニア  
 東松山オールパワーズ

優勝はFC.西武台

### 2024年度埼玉県0-60リーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	パルス	40	13	1	0
2	浦和GP	28	8	4	2
3	さいたま倶楽部	23	7	2	5
4	春越	20	5	5	4
5	BTS	24	7	3	4
6	比企FC	19	6	1	7
7	FC OKT	15	3	6	5
8	ポラリス	17	4	5	5
9	ベアーズ	15	4	3	7
10	県央レジェンド	17	4	5	5
11	サウスフレンズ	9	2	3	9
12	FSC	4	0	4	10

### 2024年度0-60サッカー選手権大会

11月3日～24日 東松山陸上競技場他

トーナメント表

パルス  
 FC OKT  
 FSC  
 BTS  
 ベアーズ  
 春越

4  
 2  
 0  
 3  
 0  
 1

1  
 0  
 1  
 0  
 0  
 0

パルス  
 パルス  
 パルス  
 パルス  
 パルス  
 パルス

0  
 0  
 0  
 0  
 0  
 0

さいたま倶楽部  
 比企FC  
 県央レジェント  
 ポラリス  
 サウスフレンズ  
 浦和GP

4  
 1  
 0  
 2  
 0  
 3

優勝はパルス

### 2024年度埼玉県0-65リーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	エルmanos65	24	8	0	2
2	シリウス	19	6	1	3
3	SEフレンズ	17	5	2	3
4	FC DREAM	9	2	3	5
5	チームあらかわ	10	2	4	5
6	トライアングルズ	7	1	4	6

※試合消化数の関係での順位結果

### 2024年度埼玉県0-70リーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	PTK	25	8	1	1
2	Gファイター	13	3	4	3
3	ゼルコバ	10	3	1	6
4	FFC	8	2	2	6

### 2024年度埼玉県0-75リーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	プリムラ	22	7	1	2
2	シルバースター	15	3	6	1
3	GPエンペラー	11	3	2	5
4	ペレウス	6	1	3	7

## フットサル

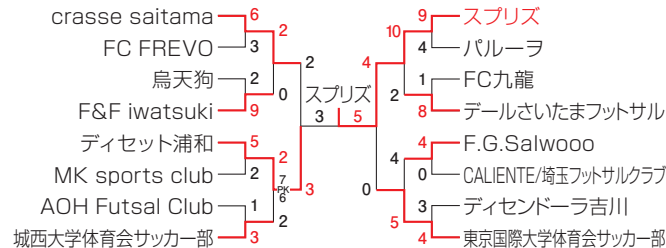
京橋アートレジデンス第24回埼玉県フットサルリーグ 1部  
後期上位リーグ【1/11 最終節】

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	AOH Futsal Club	32	3	0	0
2	ディセット浦和	28	1	1	1
3	ディセンドーラ吉川	22	2	0	2
4	FG サルー	20	1	0	2
5	デールさいたま	16	0	1	2

※勝ち点は前期リーグの勝敗も含む

### 第30回全日本フットサル選手権大会埼玉県大会

10月5日～11月30日 宮代町総合体育館他



### 京橋アートレジデンス第21回埼玉県フットサルリーグ女子 2024

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	さいたまSAICOLO PENTAS	16	5	1	0
2	祭	10	3	1	2
3	AOHレディース	5	1	2	3
4	If Levante 北本 señorita	3	1	0	5

### JFA 第21回全日本女子フットサル選手権大会埼玉県大会

10月19日 庄和体育館

決勝 Ambition 3 - 0 祭

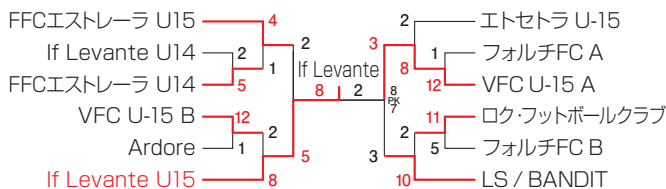
※優勝した Ambition は関東大会へ出場

### 第6回埼玉県U-18フットサルリーグ【全日程終了】

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	正智深谷高等学校	13	4	1	0
2	FFCエストレーラ川口 U18	10	3	1	1
3	If Levante U18	9	3	0	2
4	浦和麗明高等学校	6	2	0	3
5	エトセトラ U18	6	2	0	3
6	山村国際高等学校	0	0	0	5

### 第30回U-15フットサル選手権大会埼玉県大会

9月16日～28日 彩の国くまがやドーム



※優勝した If Levante U15 は関東大会に出場

## 大会記録●県外大会

### 1種

#### 関東サッカーリーグ 1部【全日程終了】

順位	チーム	勝点	勝	分	負
9	東京国際大学FC	18	4	6	8

※優勝はVONDS市原FC。東京国際大学FCは2部へ降格

#### 関東サッカーリーグ 2部【全日程終了】

順位	チーム	勝点	勝	分	負
5	COEDO.KAWAGOE.FC	24	6	6	6
10	アヴェントゥーラ川口	14	2	8	8

※優勝は流経大ドラゴンズ龍ヶ崎。アヴェントゥーラ川口は県リーグ1部へ降格

### 第58回関東社会人サッカー大会

11月1日～17日 神奈川県各地・山梨県各地

- 1回戦 ONODERA FC 3 - 1 さいたま SC  
NAGAREYAMA F.C. 0 - 1 FC カラスト埼玉南西  
栃木シティ FC U-25 2 - 0 大成シティ FC 坂戸  
Tokyo International University 1 - 2 FIFTY CLUB
- 2回戦 ONODERA FC 1 - 1 FC カラスト埼玉南西

準決勝 FC カラスト埼玉南西 (3PK4) 0 - 6 EDO ALL UNITED

※優勝はSHIBUYA CITY FC。準優勝のEDO ALL UNITEDと共に関東2部に昇格

## 大学

### 2024年度第48回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント

9月4日～15日 いわぎんスタジアムA他

- 1回戦 関西大学 0 - 1 東京国際大学  
2回戦 中京大学 1 - 2 東京国際大学  
準々決勝 松本大学 0 - 4 東京国際大学  
準決勝 阪南大学 1 - 0 東京国際大学

※優勝は阪南大学

### MCCスポーツpresents 2024年度第73回全日本大学サッカー選手権大会

12月7日～28日 栃木県グリーンスタジアム他

#### ●予選ラウンド

東京国際大学 1 - 1 関西学院大学 (1PK4)

※優勝は東洋大学

### JR東日本カップ2024第98回関東大学サッカーリーグ戦 1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
5	東京国際大学	30	9	3	10

※優勝は明治大学

### JR東日本カップ2024第98回関東大学サッカーリーグ戦 2部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
12	城西大学	17	5	2	15

※優勝は慶應義塾大学。城西大学は関東3部に降格

### JR東日本カップ2024第98回関東大学サッカーリーグ戦 3部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
9	共栄大学	26	7	5	10
12	平成国際大学	21	6	3	13

※優勝は國學院大學。平成国際大学はNorte 1部に降格



## 関東大学サッカーリーグ Norte 1 部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	尚美学園大学	34	11	1	4
2	埼玉工業大学	33	10	3	3
3	駿河台大学	27	8	3	4
7	東洋大学川越	14	3	5	6
8	埼玉大学	15	4	3	7
9	文教大学	11	3	2	10
10	獨協大学	7	1	4	8

※優勝した尚美学園大学が2024年度 第57回関東大学サッカー大会に出場

## 2024年度第57回関東大学サッカー大会

10月26日～11月23日 関東各地

帝京大学 2-1 尚美学園大学  
 大東文化大学 0-0 尚美学園大学  
 城西国際大学 1-1 尚美学園大学  
 上武大学 0-1 尚美学園大学  
 東京学芸大学 1-0 尚美学園大学

※1位の東京学芸大学は関東3部昇格。尚美学園大学は3位。2位の帝京大学とともに、2024年度関東大学サッカーリーグ戦3部参入プレーオフ決定戦に出場

## 2024年度関東大学サッカーリーグ戦3部参入プレーオフ決定戦

12月1日 流通経済大学龍ヶ崎フィールド

作新学院大学 2-1 尚美学園大学

※作新学院大学が関東3部に残留

## 第8回全日本大学サッカー新人戦

11月25日～29日 AGF フィールド他

### ●グループリーグ・B グループ

大阪経済大学 0-1 東京国際大学  
 東京国際大学 1-0 新潟医療福祉大学  
 東京国際大学 1-2 札幌大学

※東京国際大学はグループ1位

### ●決勝トーナメント

準決勝 国士舘大学 4-2 東京国際大学

※優勝は国士舘大学

## 2 種

### 高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグ2024 [EAST]

順位	チーム	勝点	勝	分	負
7	昌平高校	32	9	5	8
12	大宮アルディージャU18	11	2	5	15

※大宮アルディージャU18は次年度プリンスリーグ関東1部に降格に出場

### 高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグ2024 プレーオフ

12月6日、8日 サンフレッチェレレッツ広島第一球技場他

#### ●Bブロック

1回戦 清水エスパルスユース 0-2 浦和レッズユース  
 決勝戦 浦和レッズユース 1-1 京都サンガF.C.U-18 (4PK3)

※浦和レッズユースは次年度プレミアリーグに参入する

### 高円宮杯JFA U-18サッカープリンスリーグ2024 関東1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
3	浦和レッズユース	35	11	2	5

### 高円宮杯JFA U-18サッカープリンスリーグ2024 関東2部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
9	西武台高校	15	3	6	9

## 高円宮杯 JFA U-18サッカープリンスリーグ2024 関東 supported by Admiral 2 部リーグ参入戦

12月14日～18日 フクダ電子スクエア他

1回戦 鹿島アントラーズ B 2-0 聖望学園

※日体大柏と鹿島アントラーズ Bがプリンスリーグ関東2部に参入する

## 高校

### 第103回全国高校サッカー選手権大会

1回戦 正智深谷 2-1 長崎総科大附属

2回戦 東福岡 2-0 正智深谷

※優勝は前橋育英



1回戦 正智深谷 vs 長崎総科大附属



2回戦 正智深谷 vs 東福岡



正智深谷

## 3 種

### 高円宮杯JFA 第36回全日本U-15サッカー選手権大会

12月14日～27日 味の素フィールド西が丘他

1回戦 セレッソ大阪 U-15 3-0 FC LAVIDA

浦和レッズジュニアユース 3-3 名古屋グランパス U-15 (5PK4)

2回戦 ファジアーノ岡山 U-15 0-1 浦和レッズジュニアユース

準々決勝

東京ヴェルディジュニアユース 1-2 浦和レッズジュニアユース

準決勝 サガン鳥栖 U-15 1-1 浦和レッズジュニアユース (1PK3)

決勝 浦和レッズジュニアユース 3-2 ガンバ大阪ジュニアユース

※浦和レッズジュニアユースは11年ぶり3度目の優勝

## 高円宮杯JFA 第36回全日本U-15サッカー選手権大会関東大会

11月9日～17日 関東各地

### ●Aブロック

- 1 回戦 浦和レッズジュニアユース 10-0 JSC CHIBA  
 ブログレソ佐野 1-1 1FC川越水上公園 (PK5-6)  
 アメージングアカデミー 1-3 EC JOGADOR  
 ACアスミ 3-2 横浜FC  
 準々決勝 浦和レッズジュニアユース 7-0 ジェファFC  
 FCラルクヴェール千葉 6-0 1FC川越水上公園  
 EC JOGADOR 1-6 鹿島アントラーズノルテ  
 鹿島アントラーズつくば 3-0 ACアスミ  
 準決勝 浦和レッズジュニアユース 1-0 FCラルクヴェール千葉  
 決勝 浦和レッズジュニアユース 1-0 鹿島アントラーズつくば

### ●Bブロック

- 1 回戦 前橋FC 1-4 FC深谷  
 クラブ与野 3-3 フォルトゥナSC (4PK3)  
 準々決勝 東急スレイスFC U-15 0-3 FC深谷  
 クラブ与野 2-0 FCヴィアージャ  
 準決勝 クラブ与野 1-2 FC東京 U-15 深川

### ●Cブロック

- 1 回戦 クマガヤSC 0-1 ジェフ市原・千葉 U-15  
 三郷 Jr Youth FC 1-3 栃木 SC U-15  
 聖望学園 0-9 大宮アルディージャ U15  
 準々決勝 三菱養和SC 巣鴨ジュニアユース 2-1 大宮アルディージャ U15

### ●Dブロック

- 1 回戦 FC多摩 3-1 CAアグレ  
 横浜F・マリノス追浜 2-1 成立ゼブラ  
 GRANDE FC 4-0 西武台新座中学校  
 準々決勝 GRANDE FC 0-4 東京ヴェルディ  
 ※埼玉からは FC LAVIDA (関東第1代表)と浦和レッズジュニアユースが本大会に出場

## 2024関東U-15リーグ

### ●1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	FC LAVIDA	47	15	2	1
6	大宮アルディージャU-15	23	7	2	9

### ●2部 A

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	浦和レッドダイヤモンズジュニアユース	40	13	1	4
3	クラブ与野	37	12	1	5

### ●2部 B

順位	チーム	勝点	勝	分	負
7	GRANDE FC	19	5	4	9
10	1FC川越水上公園	7	2	1	15

## 2024関東ユース(U-15)サッカーリーグ 参入戦

12月1日 さいたま市秋葉の森公園サッカー場

A.C.アスミジュニアユース 2-0 FCヴィアージャ

※A.C.アスミジュニアユースは次年度、関東2部に参入する

## 2024関東U-13リーグ

### ●1部 A

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	FC LAVIDA	38	12	2	0
6	浦和レッドダイヤモンズジュニアユース	13	4	1	9

### ●1部 B

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	大宮アルディージャU-15	31	9	4	1

### ●2部 A

順位	チーム	勝点	勝	分	負
4	A.C.アスミジュニアユース	33	10	3	4
6	クマガヤSC U-13	23	6	5	7

### ●2部 B

順位	チーム	勝点	勝	分	負
2	クラブ与野	47	15	2	1
7	GRANDE FC	20	6	2	10

## 4種

### JFA 第48回全日本U-12サッカー選手権大会

12月26日～29日 白波スタジアム他

#### ●1次ラウンド・グループG

- ソレソ鹿児島 U-12 1-2 エクセレントフィートFC  
 エクセレントフィートFC 1-4 ボルト東山F.C.  
 エクセレントフィートFC 9-0 オオタFC

※エクセレントフィートFCは1位

#### ●決勝ラウンド

ラウンド16

エクセレントフィートFC 5-1 パディFC

準々決勝

ヴィッセル神戸 U-12 1-1 エクセレントフィートFC (OPK2)

準決勝

東京ヴェルディジュニア 3-2 エクセレントフィートFC

※優勝は東京ヴェルディジュニア

## 女子

### 第46回関東女子サッカー選手権 兼

### 皇后杯JFA第46回全日本女子サッカー選手権大会関東予選

9月1日～15日 茨城県内各所

1回戦

東京国際大学 1-0 早稲田大学  
 十文字学園女子大学 1-2 東洋大学

筑波大学 1-3 三菱重工浦和レッズレディースユース

2回戦

FCふじざくら山梨 1-1 東京国際大学 (2PK4)

SEISA OSA レイア湘南FC

2-1 東洋大学

大和シルフィード 3-1 三菱重工浦和レッズレディースユース

準々決勝

東京国際大学 2-1 神奈川大学

準決勝

東京国際大学 0-1 VONDS市原FCレディース

※優勝はVONDS市原FCレディース。上位7チームは、皇后杯JFA第46回全日本女子サッカー選手権大会に出場

### 第30回関東女子サッカーリーグ1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
3	東京国際大学	21	6	3	5
7	東洋大学	11	2	5	7

### 第30回関東女子サッカーリーグ2部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
6	大東文化大学	11	2	5	7

### 第31回関東女子サッカーリーグ・2部参入トーナメント大会

1月11日、12日 水戸ツインフィールド他

1回戦

東海大学 7-0 文教大学

### 第38回関東大学女子サッカーリーグ1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	東洋大学	53	17	2	3
6	十文字大学	32	10	2	10
7	東京国際大学	27	7	6	9

### 第38回関東大学女子サッカーリーグ 2部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
2	大東文化大学	37	14	2	2
4	尚美学園大学	31	8	7	3
8	武蔵丘短大	15	4	3	11

### 第38回関東大学女子サッカーリーグ 3部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
3	文教大学	24	8	0	4
4	城西大学	16	5	1	6

### 第33回全日本大学女子サッカー選手権大会

12月24日～1月6日 味の素フィールド西が丘

2回戦

東洋大学 3 - 0 新潟医療福祉大学

東京国際大学 0 - 1 追手門学院大学

準々決勝

東洋大学 3 - 0 静岡産業大学

準決勝

東洋大学 1 - 2 日本体育大学

※優勝は日本体育大学

### 第28回関東女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 兼 JFA第28回全日本U-18女子サッカー選手権大会関東予選

10月5日～13日 山梨県内各地

1回戦

茨城フットボールアカデミー 0 - 2 三菱重工浦和レッズレディースユース  
大宮アルディージャ VENTUS 1 - 1 湘南ベルマーレ U-18 (6PK7)

2回戦

スフィーダ世田谷 FC ユース 3 - 2 三菱重工浦和レッズレディースユース

※優勝は日テレ・東京ヴェルディメニーナ

### 2024年度第4回関東女子U-18サッカーリーグ 1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
2	三菱重工浦和レッズレディースユース	27	9	0	5
8	ちふれASエルフェン埼玉マリ	11	3	2	9

※ちふれ AS エルフェン埼玉マリは 2部に降格

### 2024年度第4回関東女子U-18サッカーリーグ 2部

順位	チーム	勝点	勝	分	負
2	昌平高校	30	9	3	2

※昌平高校は 1部に昇格

### 2025年度関東女子U-18サッカーリーグ新規参入チーム決定戦

●Aグループ

12月21日・1回戦

大宮アルディージャ VENTUS 2 - 1 湘南学院高

12月22日・決定戦

修徳高 0 - 0 大宮アルディージャ VENTUS (3PK4)

※大宮アルディージャ VENTUS U18は次年度、関東2部に昇格

### 第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

12月29日～1月12日 ノエビアスタジアム神戸他

1回戦

昌平高校 0 - 2 秀岳館高校(熊本県)

※優勝は藤枝順心

### 高円宮妃杯JFA第29回全日本U-15女子サッカー選手権大会

12月7日～27日 味の素フィールド西が丘

1回戦

三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース 6 - 0 フライア FC ウェネス

FC みやぎ 0 - 0 大宮アルディージャ VENTUS U15 (3PK5)

セレッソ大阪ヤンマーガールズ U-15 6 - 1 ちふれ AS エルフェン埼玉マリ U-15

2回戦

三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース 1 - 0 大宮アルディージャ VENTUS U15

準々決勝

SATO なでしこ U-15 0 - 4 三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース

準決勝

JFA アカデミー福島 1 - 3 三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース

決勝

三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース 2 - 3 セレッソ大阪ヤンマーガールズ U-15

### 第29回関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 兼 高円宮妃杯 JFA 第29回全日本U-15女子サッカー選手権大会関東予選

10月19日～11月3日 コーエィ前橋フットボールセンター

1回戦

大宮アルディージャ VENTUS U15 4 - 0 FC 市川 GUNNERS レディース

2回戦

ちふれ AS エルフェン埼玉マリ 5 - 0 ジェファ FC Sonho

大宮アルディージャ VENTUS U15 1 - 0 INAC 白岡 SC レディース

準々決勝

ちふれ AS エルフェン埼玉マリ 1 - 0 十文字中学校

INAC 千葉 CRAVO FC 0 - 2 大宮アルディージャ VENTUS U15

準決勝

ちふれ AS エルフェン埼玉マリ 3 - 1 小美玉フットボールアカデミー

栃木 SC レディース 1 - 2 大宮アルディージャ VENTUS U15

決勝

ちふれ AS エルフェン埼玉マリ 0 - 0 大宮アルディージャ VENTUS U15 (3PK4)

※優勝は大宮アルディージャ VENTUS U15。これにより関東リーグ上位2位を含む、上位6チームが本大会に出場

### JFA U-15女子サッカーリーグ2024 関東1部【全日程終了】

順位	チーム	勝点	勝	分	負
2	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース	29	9	2	3
3	ちふれASエルフェン埼玉マリU-15	21	5	6	3
4	INAC白岡SCレディース	21	6	3	5

※優勝はジェフユナイテッド市原・千葉レディース U-15

### 第36回関東レディースサッカー大会 兼 JFA第36回全日本O-30女子サッカー大会関東地区予選会

11月16日、17日 清瀬内山運動公園サッカー場

2回戦 小平サッカークラブ 0 - 2 FC 楓 昇 Lifelong

準決勝 HFC レディース 3 - 1 FC 楓 昇 Lifelong

3位決定戦 FC 楓 昇 Lifelong 0 - 0 大和シルフィード 98 (5PK3)

※優勝は SOCIOS.FC VENGA。3位の FC 楓 昇 Lifelong を含む上位4チームは本大会に出場

### シニア

#### JFA 第12回全日本O-40サッカー大会

●1次ラウンド・グループD

FC. 西武台 2 - 0 GALAXY (山口県)

富一ふじの会(富山県) 0 - 3 FC. 西武台

いわきシニア FC 0 - 1 FC. 西武台

●決勝ラウンド

準決勝 FC Kawasaki 0 - 0 FC. 西武台 (2PK3)

決勝 FC 船橋 0 - 2 FC. 西武台

※FC. 西武台は初優勝

#### KTFA 第18回関東O-40サッカー大会

12月7日、8日 栃木シティフットボールステーション

●Bグループ

FC トキガネ 0 - 2 VAMOS 鳩山 SC40

ヴェルフェ シニア40 1 - 1 VAMOS 鳩山 SC40

VAMOS 鳩山 SC40 2 - 2 ドリーム水戸シニア FC

※VAMOS 鳩山 SC40 はグループ1位

●優勝決定戦

横浜シニア 3 - 0 VAMOS 鳩山 SC40

### KTFA 第18回関東O-50サッカー大会

9月7、8日 押原公園サッカー場

#### ●予選リーグ・A組

越谷シニア SC 0-1 栃木教員マスターズ

T・ドリームス 50 3-1 越谷シニア SC

大泉 FC50 1-0 越谷シニア SC

※越谷シニア SCは予選リーグ4位。

#### ●7・8位決定戦

越谷シニア SC 3-0 山梨シニア

※越谷シニア SCは7位。優勝はT・ドリームス50

### KTFA 第19回関東O-60サッカー大会

9月21日、22日 千葉県総合スポーツセンターサッカー場

#### ●Bグループ

浦和グランパワーズ 60 2-2 群馬 FC レタドレス

EC ATHLETA (千葉) 2-0 浦和グランパワーズ 60

ラツォス古河 F.C. 0-0 浦和グランパワーズ 60

※浦和グランパワーズ 60はグループ4位

#### ●7・8位決定戦

山梨シニア 1-2 浦和グランパワーズ 60

※浦和グランパワーズ 60は7位。優勝はT Dreams-60

### JFA 第25回全日本O-60サッカー大会関東予選会

11月30日、12月1日 清瀬内山運動公園サッカー場

#### ●Bグループ

横須賀アズール 60 0-0 SAITAMA パルス FC60

SAITAMA パルス FC60 1-0 とち丸シニア SC

SAITAMA パルス FC60 1-3 トリプレッタ 60

ドリーム水戸シニア FC 1-2 SAITAMA パルス FC60

※SAITAMA パルス FC60はグループ3位

### JFA 第19回全日本O-70サッカー大会関東地区予選会

11月16日、17日 ひたちなか市総合運動公園

#### ●B組

群馬 FC70 0-2 埼玉シニア 70

埼玉シニア 70 1-1 栃木大昭 SC

アスレチッククラブちば 70 選抜 1-3 埼玉シニア 70

#### ●優勝決定戦

SUPER INFINITO (東京) 1-0 埼玉シニア 70

## フットサル

### 日本女子フットサルリーグ 2024-2025【全日程終了】

#### ●レギュラーシーズン

順位	チーム	勝点	勝	分	負
8	さいたまサイコロ	10	3	1	6

#### ●ファイナルシーズン 下位リーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負
3	さいたまサイコロ	16	2	0	2

※優勝は SWH レディース西宮

### 第26回関東フットサルリーグ 2部【全日程終了】

順位	チーム	勝点	勝	分	負
4	Futsal club スプリズ	19	6	1	4
11	クラッセ埼玉	7	2	1	8

※優勝は栃木シティフットサルクラブ

### 第15回関東女子フットサルリーグ 2024【全日程終了】

順位	チーム	勝点	勝	分	負
3	Ambition	18	6	0	3

※優勝はタバジャーダ世田谷。3位のAmbitionは「第12回 FUTSAL 地域女子チャンピオンズリーグ」出場権を獲得

### LUXPERIOR CUP 第8回関東大学フットサルリーグ 2024

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	城西大学体育会サッカー部	29	9	2	1
6	東京国際大学体育会サッカー部	21	6	3	3

※優勝した城西大学は、明治学院大学体育会フットサル部 SAjugariaと同勝点となり、関東第2代表として、LUXPERIOR CUP 地域大学フットサルチャンピオンズリーグ 2024に出場する

### LUXPERIOR CUP 地域大学フットサルチャンピオンズリーグ 2024

12月27、28日 日環アリーナ栃木

1回戦

城西大学体育会サッカー部 3-4 長崎大学フットサル部 FORZA

※優勝は大阪成蹊大学フットサル部(2度目)

### JFA 第30回全日本U-15フットサル選手権大会関東大会

10月26日~12月14日 武蔵野の森総合スポーツプラザ他

#### ●予選ラウンド

順位	チーム	勝点	勝	分	負
1	千葉サッカークラブU-15	6	2	0	0
2	If Levante Futbol Club U-15	3	1	0	1
3	LIGARE TOKYO NEXT U15	0	0	0	2

※優勝はFCクラッキス松戸

### JFA 第15回全日本U-15女子フットサル選手権大会関東大会

10月26日~12月14日 武蔵野の森総合スポーツプラザ他

1回戦

INAC 白岡 SC レディース 13-2 足利・両毛ローザ FC

準決勝

INAC 千葉 CRAVO FC 3-5 INAC 白岡 SC レディース

決勝

シーマ高崎シティユナイテッド 0-4 INAC 白岡 SC レディース

※優勝したINAC 白岡 SC レディースは本大会に出場する

## インフォメーション ~技術委員会より~

### 【国スポに向けて】

2025年に滋賀県で開催される「わた SHIGA 輝く国スポ」に向けて、各選抜チームの監督が決まりました。

- ・成年男子 星野泰聖(尚美学園大学)
- ・少年男子 山田純輝(川口市立高校)
- ・少年女子 齋藤雅人(NTT 東日本)

8月開催の関東ブロック大会を突破して、2大会連続3カテゴリ一本大会出場に向けてまいります。ご声援ください。

※成年女子と成年男子は隔年交互開催

### 【2025年度SFAフットボールカンファレンス開催決定】

隔年で開催している「SFA フットボールカンファレンス」の開催日が確定しました。

- ・開催日/2026年3月22日(日)
- ・開催地/県南部予定(まだ確定ができておりません)

テーマなど詳細に関しましては、鋭意検討中ではありますが、多くの指導者の皆様にご参加をお待ちしております。なお、詳細につきましては決まり次第、順次発表してまいります。

## 編集後記

厳しい寒さがようやく緩み始め、春の足音が近づいてきています。4月、本格的なシーズン開幕の前に、チームづくりに余念のない時期が続きます。急激な寒暖差で体調を崩されないよう、ご留意ください。さて近年、サッカーを取り巻く環境において、さまざまな問題が顕在化しています。埼玉県FAでの取り組みについて、次号以降で取り上げていきたいと思っております。新年度もよろしくお願いたします。(藤田)